

光学式溶存酸素計(DO計)

気液混合型洗浄機構

従来のエア洗浄機構を改良、洗浄力を強化した
新たな気液混合型洗浄機構により汚泥付着を低減

特許取得済み

従来のエア洗浄機構

約20日後

汚泥付着で計測異常



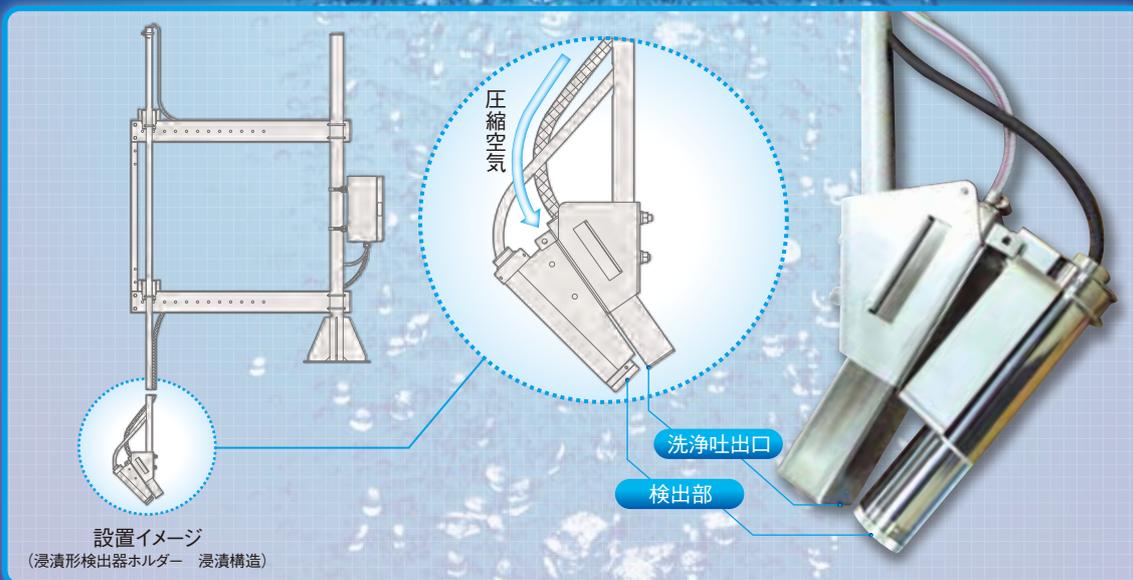
新たな気液混合型洗浄機構

約45日後

汚泥付着なく安定計測



気液混合型洗浄とは、測定対象である測定液を洗浄水として利用します。洗浄動作初期は空気と比べ拡散され難い測定液で強力洗浄し、仕上げは圧縮空気で広範囲に追加洗浄するハイブリッド方式を採用することにより、長期間にわたり汚泥付着の影響を低減します。



JFE アドバンテック 株式会社

JFE

気液混合型洗浄機構の特長

洗浄は測定液と空気のハイブリッド

洗浄初期は測定液で強力洗浄し、仕上げは圧縮空気で洗浄します。液体は圧縮空気と比べ拡散されにくいので、洗浄力が大きいのが利点です。

メンテナンス負荷を軽減(当社比)

従来のエア洗浄機構では、汚泥付着のために1~2週間で指示値変動が発生していた現場でも、新たな気液混合型洗浄機構では2ヶ月間も影響を受けずに測定が可能です。

洗浄機構は簡単な構造で故障の心配なし

水中の洗浄機構内に電気部品はありません。また、水頭圧 < 吐出圧だから目詰まりも起こりません。

洗浄液は設置槽内の測定液をそのまま使用

水配管を敷設する必要がなく、新たに洗浄液の供給も不要です。

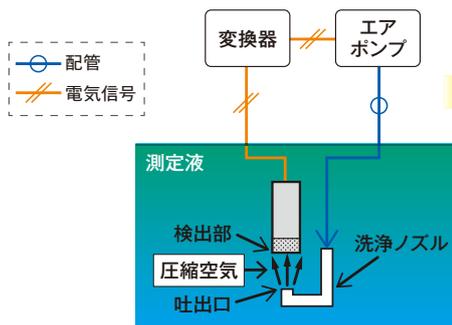
当社従来のエア洗浄機構を流用して更新可能

既設の洗浄ノズルを交換し、タンク調整弁を追加するだけで更新できます。

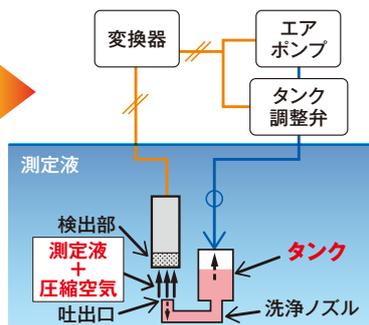
施設の設置環境を選ばない構造

施設の供給水量など環境の変化とは無縁で、変換器で洗浄頻度の制御が可能です。

従来のエア洗浄機構



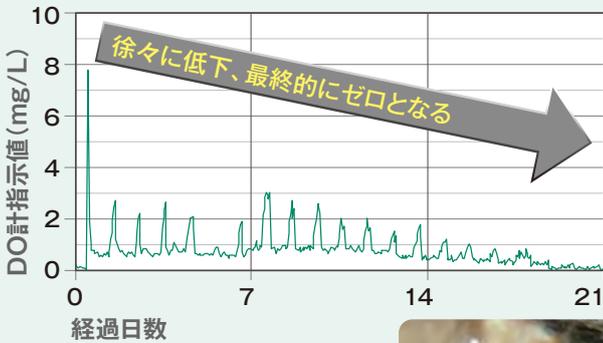
新たな気液混合型洗浄機構



- ① 水頭圧で自然に吐出口からタンク内に測定液が入り、貯留されます。
 - ② エアポンプからタンクへ圧縮空気を送ります。
 - ③ タンク内に貯留された測定液を吐出します。
 - ④ 測定液を吐出後、圧縮空気を吐出します。
 - ⑤ エアポンプ停止後、タンク調整弁よりタンク内圧を開放します。
- 以後、①~⑤を繰り返します。

気液混合型洗浄機構での測定例

○従来のエア洗浄機構での測定

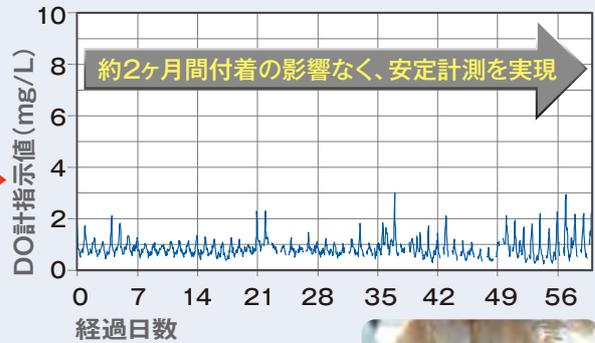


約20日後

検出部が完全に覆われている



○新たな気液混合型洗浄機構での測定



約45日後

検出部に付着なし



※ カタログ仕様は改良のため予告なく変更することがございます。



JFE アドバンテック 株式会社

URL: <http://www.jfe-advantech.co.jp/>

本社・本社工場 〒663-8202 兵庫県西宮市高畑町3-48
水環境事業部 TEL.0798-66-1502 FAX.0798-65-7025

東京支社 〒111-0051 東京都台東区蔵前2-17-4 (JFE蔵前ビル2階)
TEL.03-5825-7360 FAX.03-5825-5591

東北支店 TEL.022-711-7535 FAX.022-711-7534
名古屋支店 TEL.052-565-0070 FAX.052-565-0072
中国・四国支店 TEL.086-440-1580 FAX.086-447-3309
九州支店 TEL.092-263-1671 FAX.092-263-1675
東日本事業所 TEL.043-262-4238 FAX.043-262-4296
西日本事業所(倉敷) TEL.086-447-4596 FAX.086-447-4605
西日本事業所(福山) TEL.084-945-3568 FAX.084-945-5054